

フレンズ10周年記念

錦織健

テノールコンサート

8月3日

森のホール

満員の熱気に

包まれ

盛況に終わる



の活躍をはじめ、テレビ出演などで幅広い人気を博し、この日も埼玉県や滋賀県から長久手へはるばる足を運ぶ熱心なファンもいるほどでした。

コンサートの前半第一部は、

古謡「さくらさくら」をはじめ日本の歌曲を中心に進み、休憩をはさんで後半第二部は、オペラのアリア、イタリア民謡などを中心に進められました。

8月3日、長久手町文化の家森のホールで錦織健テノールコンサートが行われました。文化の家フレンズ発足10周年を記念して、フレンズが企画し公演したものです。10周年の節目にふさわしく、会員はじめ多くの皆さんに喜んでいただける催しをと取り組んだ大型の企画です。

錦織健さんはオペラで

歌の合間の軽妙なトーク、また第二部の冒頭では錦織さんがギターの弾き語りで客席をまわり会場を沸かすという素晴らしいサービスマもあって、公演は熱気に包まれました。フレンズはこれまでの10年間

「フレンズのつどい」として18回の自主公演に取り組んできましたが、今回もフレンズ会員をはじめ多くの方々の協力を得て、大成功のうちを終えることができました。

会場でいただいた声から

すばらしい、本物の歌声はやはり良いですね。

日本の歌などわかりやすく、心にとても響きました。期待以上に十分満足できました。

サービス精神があり、楽しくあきさせない話もよかったです。

コーラスで日本の歌を何曲か歌う予定なので、大変勉強になりました。

投稿

錦織健が「森のホール」に！

大数 長子

ビッグアーティストが長久手で初のコンサートとあって開演前、満員のホールは静かでありました。

この空気をますます熱くしたのは、透明感のある美声で古曲「さくら」のメロディーが流れてきたときでした。

オープニングのこのさくらもアレンジされていて、息の長い安定した歌は観客の心をぎゅっとつかみひきつけていきます。ホールに響き渡るフォルティシモと奥行きのあるピアノ

ニシモのテクニック、絶妙のバランスが聴くものを魅了します。私の大好きな「落葉松」の曲は、歌い手と伴奏者がごく自然に一体化していて、すばらしいものでした。

そして言葉がすっと心に染み込む感じがとても心地よく、思わずこの曲が聴けただけでも来たかいいがよかったと思えるほどでした。

もちろん後半のイタリアものも、優れた伴奏者と息の合った演奏で、とてもよいコンサートでした。

ただ、残念なことといえば、もう少し音楽の余韻に浸っていたときに、拍手が早すぎると思われる場面が時々あったことでした。

第2回 フレンズの各部紹介 事業部

年に2回の自主公演に
取り組んでいます

年2回の公演を実現させています

事業部はフレンズが自主企画する公演を、夏と冬の年2回実行しています。

このために公演ごとに実行委員会をもつけ、公演内容の決定、出演者の選定と交渉、予算の組み立て、ポスター・チラシ作りなどの宣伝活動、チケットの販売などを、フレンズスタッフや文化の家職員などの協力を得ながら取り組めます。

そんな中で、なんとと言ってもチケット販売にいちばん苦心します。

今回の錦織健テノールコンサートは、10周年にふさわしくということでも規模も予算も大きく、集客の目標を650人におき、成功を目指してぎりぎりまで奮闘しました。

実行委員を先頭に、フレンズスタッフ、フレンズ会員の協力も得てチ



ケットを完売し、森のホールを満席にすることができました。

客席をいっぱいにして公演を行うことは、出演者に最高のコンディションを用意することになり、結果的にお客様にも大きな満足を提供することにつながります。

今回も公演のあと、「大成功、素晴らしいかった」「大変満足しました」という声が多く聞かれました。

取り組みが成功し「満席」と「お客様様の満足」このふたつが得られたとき、実行委員会メンバーの努力は大きく報



写真上 昨年12月のクリスマス
パーティー「弦の音色に
のせて」の会場

写真右 実行委員会の様子

われたこととなります。

いまは次の計画に取り組んでいます

フレンズ10周年記念のコンサートを大成功で終えたばかりですが、息つく間もなく、次のクリスマスパーティーの準備にかかっています。(下の枠内をご覧ください)

現在、実行委員会のメンバーは8人、それぞれが自分のできることで協

次回 フレンズのつどい Part. 20 のお知らせ

12月19日(金) 14:00開演 森のホール
入場料: フレンズ会員 1,200円(本人のみ)
一般 1,500円

出演: GRUPO TIKAY (グループ ティカイ)

チャンゴ&ボーカル: ティラド ロメロ オスカル ケーナ: ティラド 律子

ギター&チャロンゴ: 鳥羽 省吾 ケーナ: 助広 三恵子

ボーカル&パーカッション: 運天 花子 ドラム: 椿原 心平

“ティカイ”とはインカ(ケチュア語)の言葉で「花開く」という意味です。2001年に結成し名古屋を中心に活躍しています。古くから伝わる南米のリズムや伝統を大切に、アップテンポそしてモダンにアレンジし、ユニークで魅力的なサウンドづくりを目指しています。

チケット発売日
フレンズ会員 10月4日(土)
一般 10月11日(土)

力あつています。しかし取り組みの内容が
らえば、もっともっと多くの人に参加して
ほしいと願っています。

興味がある方、ぜひ実行委員会に気軽に顔
を出して下さい。

フレンズの各部紹介

研修部

楽しさを求めながら 親睦と
自分磨きの場を提供します

ふたとおりの研修の場を提供

研修部の活動は、会員ならどなたでも参加できる年一回の町外研修と、対象をスタッフに限定する研修の実施が主なものです。

今年度の町外研修は、5月に松阪農業公園「ベルファーム」と松阪城跡に出かけました。文化の家藤井事務局長と、フレンズ担当の近藤さんにも一緒にしていただくことができました。

「食育の場」「緑育の場」「健育の場」をコンセプトにした体験型公園で、地元産の豊富な食材を使ったバイキング形式のランチを楽しみ、ハニーキャンドルづくりにも挑戦しました。



また、フレンズの活動を支援いただいているスタッフの皆さんを対象とした研修会は、今年度もいくつか計画しています。

その一つに恒例になりつつある愛知県陶磁資料館の見学会があります。

これは文化の家の川上館長、陶磁資料館学芸員の方の解説をじっくり聞きながらの贅沢で魅力的な鑑賞会です。

すでに、今年7月には「中国古代の建築とくらし展」を終えましたが、説明を受けながら鑑賞するので、いつもう関心が増し理解も深まります。

好評でパートへと
つながることも

さらに昨年大好評を得たバックステージツアー（文化の家の舞台裏見学会）は今年もパートを予定しています。森のホール、風のホールを日頃は客席から眺めているのですが、その舞台裏は



どのような構造か、それがどんな装置によって操作されているか。文化の家初山係長の懇切丁寧な説明と案内で見学をしました。

この見学会によって、文化の家の構造やホールの機能について知識を深めただけでなく、ホールスタッフに携わる際に役立つものも身につけることができました。

その他にも東山植物園ウォーキング、朗読講座など、スタッフの皆さんからの要望に応え盛りたくさん予定しています。皆さんもスタッフに加わっていただいで一緒に楽しみませんか。

防災訓練にも取り組んでいます

また、欠かすことのできない大切な研修は防災訓練です。東海地震・東南海地震が心配される昨今、ホールスタッフに携わって、地震や火災など緊急事態が発生した場合、文化の家の職員と一体となって来館者・観客の安全を確保できるよう、年に1回防災訓練に取り組んでいます。

こうしたさまざまな研修を行うため、研修部のサポートをしてくださる方も募集中です。

楽しく研修したり

仲間との親睦を
深めるために力を
貸してください。



写真上 松阪農業公園「ベルファーム」でハニーキャンドル作りを楽しみました
写真右 昨年のバックステージツアー 舞台の上で構造や装置の説明を受けています

10月・11月の主な催し物を紹介します
 詳しくは文化の家のパンフレットなどをご参照ください
 いずれの催し物も前売チケットを発売中です

カナダ:ケベック州政府 在日事務所設立 35周年記念
 ケベック市制 400周年記念



(日本語字幕付き)

出演 デュルシネア・ラングフェルダー
 エリック・ジングラ

10月4日(土) 18:30 開場 19:00 開演

森のホール 全自由席
 前売 フレズ 2,700円 一般 3,000円
 学生 2,000円

当日 フレズ・一般とも 3,500円
 学生 2,500円

ヴィクトリアおばあさんは、最後に人生のすばらしさを届けてくれました。現代版女性チャップリン、デュルシネアが描くおかしくて切ない「涙」。

公門美佳ソロダンス公演 vol.2

出演 「うず」

ダンス:公門美佳

作曲委嘱・ピアノ:菅原拓馬

バイオリン:横田真規子 パーカッション:池永健二

10月11日(土) 19:00 開演

10月12日(日) 15:00 開演

風のホール 全自由席

前売 フレズ 2,300円 一般 2,500円
 学生 2,000円

当日 フレズ・一般とも 3,000円
 学生 2,500円

昨年のダンスプロジェクト「足跡」に続く、公門美佳のソロダンス公演第2弾。今回は地元アーティスト3名との異色コラボレーションによるコンテンポラリーダンス公演。

編集者コラム

私はなにをしたの

昨年の夏、ふた付きのガラス瓶で淡水魚のコッピー2匹を飼い始めた。エサは週一度の割合で、ピンにコンコンと合図を送って与える。正月ごろになると、合図を送ると2匹が水面の中央をジグザグ泳いでエサをねだってくる。今月のある朝、エサを忘れた私が見たのは、1匹の姿だけ。「何をしたの?」とたずねたが、返事がない。どうも私は共謀共同正犯になったようです。

(と)



出演 秋吉敏子トリオ

ピアノ:秋吉敏子 ベース:鈴木良雄

ドラム:村上寛

10月29日(水) 18:30 開場 19:00 開演

森のホール

前売 フレズ 3,000円 一般 4,000円
 学生 2,500円

当日 フレズ・一般とも 4,500円
 学生 3,000円



出演 トリオ・カルロ・ヴァン・ネスト

ピアノ:セバスチャン・リエナール バイオリン:ノエ・乾

チェロ:アレクサンドル・ドゥブリユ

11月3日(月・祝) 14:30 開場 15:00 開演

森のホール

前売 フレズ 2,500円 一般 3,000円
 学生 1,500円

当日 フレズ・一般とも 3,500円
 学生 2,000円

錦織健も秋吉敏子も

長久手在住 宇井佐太市

ほんとすぺーす

昭和30年代、ジャズマンの伝記映画をよく観ました。「グリーンマイル物語」「ベニーグッドマン物語」「五つの銅貨」「愛情物語」などに夢中になりジャズのとりこになっていきました。

以前は八事の山中に住んでいて、大量でジャズのレコードを鳴らしていましたが、こちらではすこし事情がちがってヘッドホンをを用い、好きな写真を眺めながら聴いています。

ジャズではないですが、8月の錦織健テノールコンサートを、趣味の写真の仲間とともに鑑賞しました。

日本の古謡「さくらさくら」で第一部が始まると、マイクなしでホールの間々まで通る豊かな音量に圧倒され、また曲の合間の錦織さんの楽しいトークも魅力的で、歌の世界に引き込ま

れていきました。

第二部では、ギターの弾き語りでも場内を回る思わぬサービスもあって感激。オペラの曲が中心でしたが、「トウランドットより(だれも寝てはならぬ)」を聴いたときはトリノオリピックでの荒川静香選手の華麗な姿が目につかんだりして、あつという間に2時間のコンサートが楽しく過ぎました。

10月には秋吉敏子ピアノトリオのジャズコンサート。これも大いに楽しみに待っています。世界の秋吉敏子ピアノトリオがこの長久手町で聴けるなんて最高に幸せです。企画をされるスタッフの方、本当にありがとうございます。音楽はジャンルに捉われず楽しく聴きたいものです。